

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド(年4回決算型)(愛称:SBI・V・米国増配株式(分配重視型))」は、2024年11月20日に第3期決算を行いました。

当ファンドはSBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを示すS&P米国ディビデンド・グロウズ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第3期末(2024年11月20日)

基準価額	11,433円
純資産総額	1,859百万円
第2期～第3期	
騰落率	8.0%
分配金(税込み)合計	95円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

# SBI・V・米国増配株式 インデックス・ファンド (年4回決算型) (愛称:SBI・V・米国 増配株式(分配重視型))

追加型投信/海外/株式/インデックス型

## 交付運用報告書

第2作成期

第2期(決算日 2024年8月20日) 第3期(決算日 2024年11月20日)

作成対象期間(2024年5月21日~2024年11月20日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

### 基準価額等の推移

（2024年5月21日～2024年11月20日）



第2期首：10,681円

第3期末：11,433円（既払分配金（税込み）：95円）

騰落率：8.0%

（注1）ベンチマークは、S&P米国ディビデント・グロワーズ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、作成期首（2024年5月20日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・米国景気の軟着陸による米国金融政策の緩和への期待
- ・堅調な米国景気を背景とした企業業績の好調持続
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・日米金利差による為替のドル高基調の継続

#### 下落要因

- ・想定以上に堅調な米国景気による金融緩和策の後退
- ・トランプ政権の財政拡大政策によるインフレの高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による世界経済の停滞
- ・日本政府の為替介入による円高

## 1万口当たりの費用明細

（2024年5月21日～2024年11月20日）

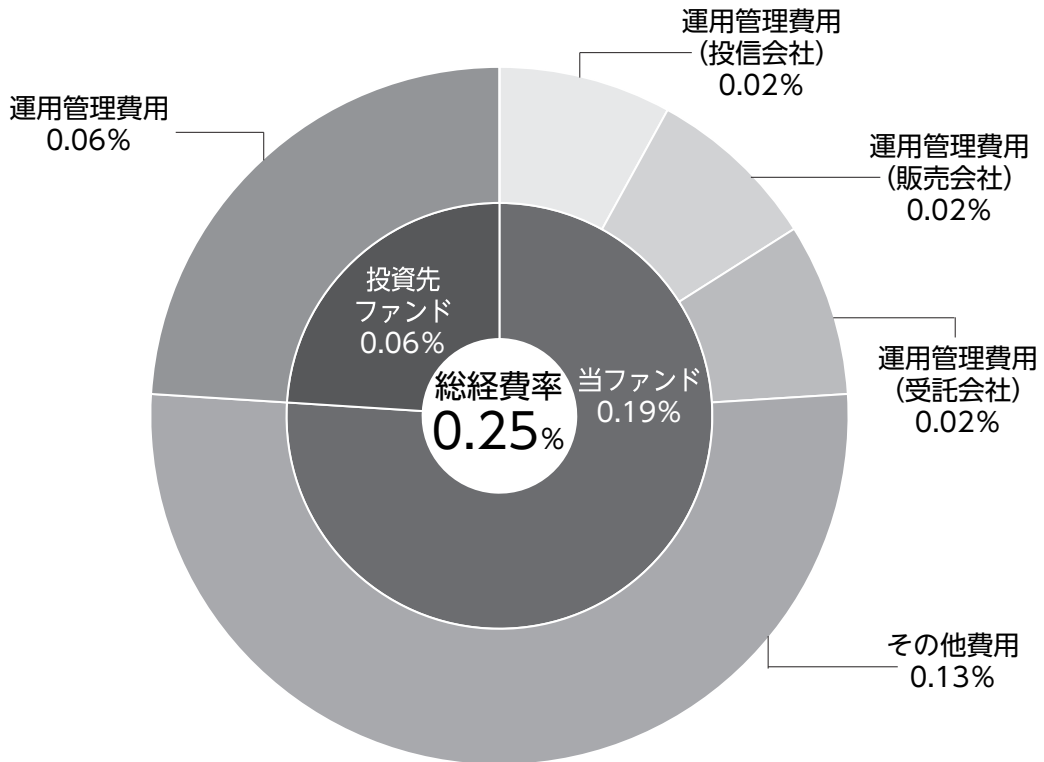
項 目	第2期～第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 3	% 0.032	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.012)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.012)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.008)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.068	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(5)	(0.044)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	10	0.100	
作成期中の平均基準価額は、10,741円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.25%です。



総経費率 (①+②)	0.25%
①当ファンドの費用の比率	0.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。  
 (注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。  
 (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年11月20日～2024年11月20日）



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2024年2月28日から2024年11月20日）のみの記載となっています。
- (注2) ベンチマークは、S&P米国ディビデント・グロウーズ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2024年2月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2024年2月28日 設定日	2024年11月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,433
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	140
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	16.2
純資産総額 (百万円)	710	1,859

- (注1) ベンチマークは、S&P米国ディビデント・グロウーズ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日（2024年2月28日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年5月20日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2024年5月21日～2024年11月20日）

**<先進国株式市場>**

作成期初、米国市場を代表するS&P500種指数は5,300台で始まりしました。米半導体大手のエヌビディアの業績好調と今後の生成AI市場の拡大を期待した買いがハイテク株中心に集まる一方、米連邦準備理事会（FRB）の利下げ観測、金融政策の行方に左右される展開となりました。8月には、雇用統計が想定以上に悪化したことで、米国経済への懸念が強まる中、一時急落する局面もありましたが、下旬にパウエルFRB議長が9月の利下げを示唆したことで、買い安心感から下げ止まり、実際に2024年9月中旬のFOMCにおいて0.5%と大幅な利下げを決定したことで上昇基調となりました。10月以降も、経済指標が強含むと、金融政策の大幅利下げ観測は後退しましたが、好調な企業業績が株価を下支えし、また、米大統領選挙で、トランプ氏の優勢が伝えられると、財政拡大政策などから株式市場にプラスになるとの思惑も働き上昇が継続しました。さらに11月上旬の米大統領選挙で、トランプ氏の勝利が報道されると買いが集まり、米国株式は一段高となり、通期でS&P500種指数は上昇、5,900ポイント前後で作成期を終えました。

**<為替>**

作成期初、米ドル/円相場は156円近辺で始まりしました。日銀によるマイナス金利解除、政府による為替介入はありましたが、日米金利差によるドル買いの動きは止まらず、ドル高の動きが継続しました。7月月初に160円を超えると、政府は再び為替介入を実施し、7月末の日銀の政策決定会合での利上げ決定により円高に転換しました。一方米国では8月に発表された雇用統計の悪化を受けFRBが大幅な利下げを実施、9月中旬には140円を割りこむ水準まで円高が進みました。ただ、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退し、米長期金利が上昇に転じると、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。また、トランプ氏の米大統領選挙での優勢が報道されると、財政拡大政策が米国経済を後押しするとともに、財政赤字が拡大するとの思惑から米国金利が上昇、これを受けドル高が進みました。11月上旬の米大統領選挙で、トランプ氏の勝利が報道されるとドル買いが強まり、通期でドル高・円安が進み、155円前後で作成期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2024年5月21日～2024年11月20日）

## &lt;当ファンド&gt;

主要投資対象であるSBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

## &lt;SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド&gt;

米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを捉えることをめざすS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行いました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・米国増配株式ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年5月21日～2024年11月20日）

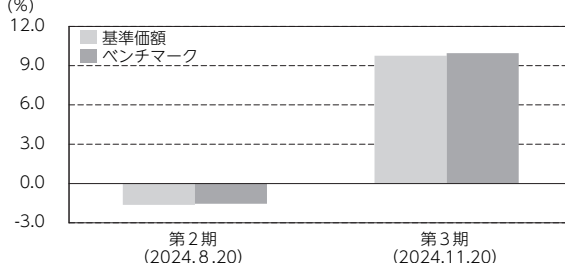
作成期中における分配金も考慮した基準価額は、+8.0%の上昇となり、ベンチマークである「S&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）」の騰落率である+8.2%を概ね0.2%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）です。詳細はP12をご参照ください。

**分配金**

（2024年5月21日～2024年11月20日）

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期	第3期
	2024年5月21日～ 2024年8月20日	2024年8月21日～ 2024年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	45 0.428%	50 0.435%
当期の収益	39	50
当期の収益以外	5	—
翌期繰越分配対象額	626	1,432

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを示すS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行う方針です。

**<SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド>**

引き続き、「バンガード・米国増配株式ETF」を主要投資対象とし、米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを示すS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。



## お知らせ

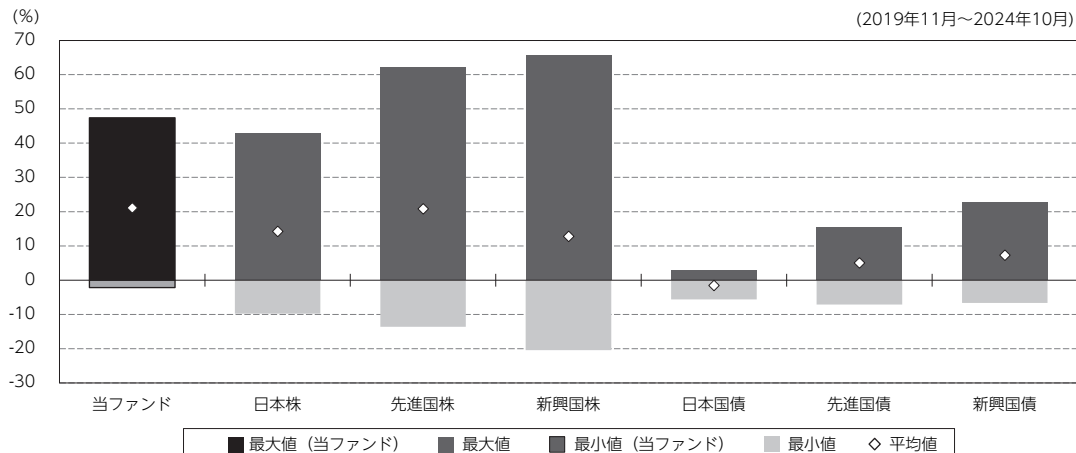
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2024年2月28日）	
運用方針	SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを示すS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを示すS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	米国株式市場において継続して配当を増額してきた成長銘柄の株価の動きを捉えることをめざすS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
分配方針	年4回、原則として、2月、5月、8月および11月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.4	42.8	62.2	65.6	2.9	15.3	22.7
最小値	△ 2.2	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	21.1	14.2	20.8	12.8	△ 1.6	5.0	7.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドにつきましては、運用期間が5年未満であるため、設定日以前につきましては運用の目標となるベンチマークを基に指数化して算出しております。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

- 日本株…Morningstar 日本株式指数
- 先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
- 新興国株…Morningstar 新興国株式指数
- 日本国債…Morningstar 日本国債指数
- 先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
- 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2024年11月20日現在）

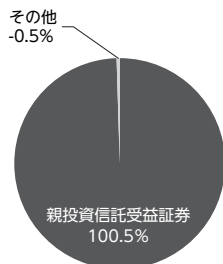
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド	% 100.5
組入銘柄数	1銘柄

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

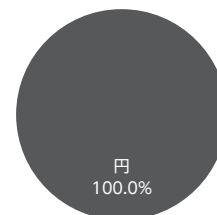
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注1）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

（注3）国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

### 純資産等

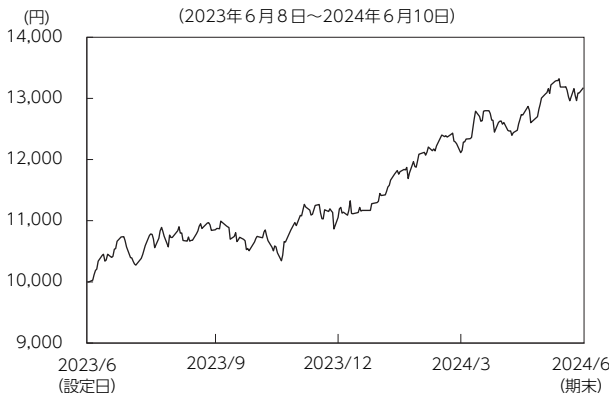
項目	第2期末	第3期末
	2024年8月20日	2024年11月20日
純資産総額	1,533,839,476円	1,859,511,300円
受益権総口数	1,466,313,734口	1,626,501,518口
1万口当たり基準価額	10,461円	11,433円

（注）作成期中における追加設定元本額は697,576,610円、同解約元本額は357,694,599円です。

## 組入上位ファンドの概要

### SBI・V・米国増配株式インデックス・マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万円当たりの費用明細】

(2023年6月8日～2024年6月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	1円 ( 1)	0.011% (0.011)
合計	1	0.011
平均基準価額は、11,549円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

#### 【組入上位ファンド】

(2024年6月10日現在)

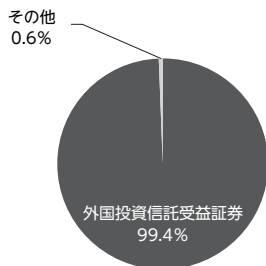
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Vanguard Dividend Appreciation ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.4%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

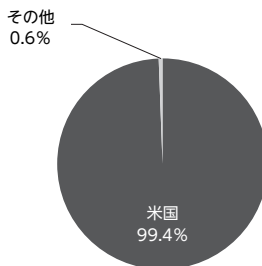
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

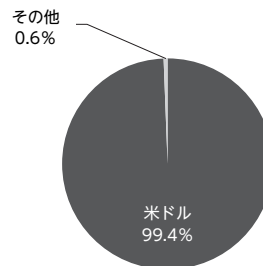
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年6月10日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

### <当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、S&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックスを委託会社にて円換算しています。

OS&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックス

S&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックスとは、米国株式市場において過去10年間継続して配当を増加してきた米国企業（配当利回り上位25%の適格企業を除く）で構成されるキャップド時価総額加重平均型の株価指数です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

S&P米国ディビデンド・グロワーズ・インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスがS B I アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup>およびCDX<sup>®</sup>は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、S B I アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。本ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。